

沖縄語 かわら版

沖縄語を話す会会報

第12号

2009年4月18日発行

会長 城間 朝昌

事務局（編集室）

〒215-0031

川崎市麻生区栗平2丁目2番9-303

hasama-s8@lime.ocn.ne.jp 國吉 眞正

電話 & F a x 044-988-8065



2008年12月6日 忘年会「勉強会場で」

うちなーぐちで紙芝居「平島夏実さんと和田晶子さん」

「おきなわご沖縄語を話す会」はなかい月に二回集まる勉強会、ちち たけーんあち品川ぬ大崎をびんちよーいて、しながわ おーさき

- ・はし初めうちなーぐちぬ沖縄口-----和田晶子
- ・かびしばい紙芝居-----國吉（眞）
- ・会報に出てきた語句の説明
- ・事務局から

ホームページ <http://www.wwq.jp/p/>

沖縄語教育支援文庫 <http://www.wwq.jp/q/>

我んねー、生まれー、東京ぬ赤羽んで言う所ど
やいびーしが、中学二年生ぬ頃、千葉県ぬ我孫子市
んかい家移ーっし、今んんまぢで暮らちよーいびー
ん。

我んねー、大和人んどやいびーしが、何んち沖縄口
習いる如成たがんち、御話 うんぬきれーやーんで思
とーいびーん。

我んねー、ゆちってーんそーる沖縄ぬ自然ど、大概
っし済むさんで言う考ーん、あんで言う事んかい趣
味ぬあて、沖縄にちーで書物読だい、東京ぬ銀座な
かいある「わたしたショップ」かい行じ、沖縄物買た
い、又、胴くる沖縄料理作たいそーいびーん。

あんし、CDぬ付ちよーる沖縄口ぬ書物買で聞ちゃ
びたしが、むさつど分かいはらんたん。うれー、「ち
んぷんかんぷん」でど言びーがやーたい。

なー、かんしえー成らんむんで思て、なーふん沖縄
ぬ事分かれーやーんで思て、ちゃーさらー益しやが
んち、考ーとーいびーたん。

あんしーかんしーそーいびーねー、沖縄ん人やいび
ーしが、我ん同士ぬ「東京沖縄県人会」から出じと
ーる、「おきなわの声」んで言う新聞見して呉みそー
ちゃん。

うり読だくと、「沖縄語を話す会」ぬあんで言う事ぬ
わかて、「とー、くりやさ！」んち、うぬ会んかい、恥

ち ぢんわ ん
切りで電話っし見じゃびたん。

びんちよーい ン うどる めーでーじる 糸ーだ
勉強会かい行じ驚 ちゃしえー、喉 弦ぬ間な
かいある、たばさくーで、あつたに息出じゃしんで言
ちやい、又、あねーあらん如っし、出じゃする発音
あんで言う事やいびーたん。

あきさみよー、なー、我んねー、はじ
ど、「わー」ん「あー」ん諸いぬ如っしと聞かりやび
ーたる。

我んねー、家かい帰いがちー、「わー、あー、わー、
あー、・・・」っし、稽古さびたしが、いぬ音ど出じゃ
しゆーさびーたる。

なま 今ー、いぬ 音ぬ変わゆんで言し、聞ち分きゆーさび
ーしが、発音ー難 さいびーん。

なーちえー、御話 する場に声上ぎたい、下ぎたい
さびーしえーやーたい。うりん難 さいびーん。

わ 我んが沖縄口っし御話 してねー、大和口風儀っし、
いふー 異風な言葉成て聞かりーる筈どーやーんち、御無礼
成てーをらんがやーんで思とーいびーん。

うりから、「単語の活用」んで言しがあいびーしえー
やー。うりん大事やいびーん。

なまなら 今習たしん、けー忘たい、なー、年ど取たがやーん
で、思たいそーいびーん。あんしが、勉強会をてー、
わ 我んねー、若さる中 ない入っちょーいびーん。

うちな-くち ば じゆーおん
沖縄ぬ言葉んで言しえー、五十音やか、なーふん
うど 音ぬちゃっさんあんで言う事ぬ分かて、沖縄ぬ言葉

一、一杯ゆちくにあて、奥ぬ深ささやーんで思て、
肝打たつとーいびーん。

去年ぬ四月に、沖縄かい行じ来やーびたん。五年前
にん行ちやびたしが、去年一、二回目やいびーたん。

系満をて乗たるタクシーぬ運転手んかい、「我んね
一、沖縄口勉強そーいびーんどー。」んて言ちやく
と、六十びけーん成いるうぬ運転手ぬ、嬉さしみそ
一ち、沖縄口習一ち呉みそーちゃん。又、テストんさ
つて無ーやびらん。うぬっ人一、家をてー沖縄口使と
ーる風儀やいびーたん。

な一、タクシーぬ中をて、一杯ぬーりきさいびーた
ん。

沖縄かい行じ買い物しーに、沖縄口使いぬ一、砂
糖油揚ぎぬ添一分小ぬ、ばーらりゆんで言る話
ち聞ちよーいびーたくと、まちや小かい行じ、あーさ買
て、「にふーでーびる。」んて、うんぬきやびたん。あ
んしが、「こちらこそ。」んて言びーたる。あきと一
な一、添一分小ばーゆんでち、たるがきとーたるむん
ぬ、だ一、みーふーふー成て無ーやびらん。

あんやいびーしが、我達あんまーが、ちゆけー隣ぬ
スーパーマーケットをて、「沖縄物産展」ぬあいに、
んまぬっ人んかい「うちの娘は、沖縄の言葉を習っ
ているのよ。」んて言ちやんでたい。

あんさくと、添一分小ばーたんてち、持つち来えーい
びーたん。

あきさみよ一、下心ぬ分かいがさびたら、我んが言

一ね一、何ん無ーやびらんたん。ゆーさね一、我ん肝
内ぬ分からつたがやーんち、斟酌そーいびーん。

な一、ちゃー誠な心持っし、物ー言るむんやんで思
やびたん。

沖縄かい行じ分かたる事一、我んね一、相手から御
話諸聞ちゆしえ一、難さんてぬ事ぬ分かやびたん。
あんすくと、な一ふん勉強っし物語しゆーする如
さんだれ一成らんで思とーいびーん。

沖縄旅一、只見ち歩ちゆるうっぺーあらん、沖縄
口っし、御話すんで言る趣持つち行じやくと、
一杯ばー旅成いびたん。



紙芝居

國吉(眞)(川崎市)

我んね一、沖縄かい行ちゆる場ね一、老人ホーム
かい行じ、沖縄口っし、ゆんたくふんたくすしが何や
かん楽しみやいびーん。

八十五から九十余い成みしえーるしーじゃ方ぬ御

話一、本当ぬ沖縄口やいびーん。今、沖縄口っし

か書かつとーる書物、うりから、新聞んで一読むしが、
ばっぺーん満で、沖縄口っし書かつとーんねーさび
ーしが、異風な沖縄口成て、何がやら肝んふじやび
らん。

あんすくと、うり読むしやか、老人ホームかい菓子小

持^むっ^んち^ん行^かじ、ま^じゅ^ん噛^かみ^がち^ー、御^う年^ど寄^しぬ^い達^ちと^う御^う

話^はす^なしえ^ー、じょ^ーや^ま益^しや^いび^ーん。

此^こ間^ね、沖^う縄^ち口^ーさ^ーに^か書^かち^ええ^ーる^か紙^か芝^か居^び持^いっ^むち^ん行^ん
じ、芝^{しば}居^いさ^びび^たん。

十^じ人^ゆび^にけ^ん揃^すり、芝^{しば}居^いす^んち^やた^るむ^んぬ、な^ー

ふ^いん入^いっ^て呉^くり^んち、後^あぬ^うじ^ゆめ^ー、二^に十^じ人^に余^あま^い
成^なて^ね無^なー^やび^らん。

声^こや^ちマイ^かク^し使^しい^ねー^し濟^じむ^しが、な^ー、絵^びや^びB^よ4^んサイ

ズ^どや^いび^ーた^くど、じゃ^ース^ー成^ない^びた^ん。か^ーま

く^しぬ^っ人^ー、絵^ちぬ^び小^くさ^め見^みー^らん^たる^ふ風^じ儀^いや^いび^ー
ー^たん。

芝^{しば}居^いぬ^は話^なしえ^ー、「天^{てん}ぬ^っ人^ち『系^ゆー^め嫁^い』^やい^びー^たん。

此^これ^ー、大^や和^まぬ^ん昔^か話^しど^やい^びー^しが、沖^う縄^ち口^ーん^か

い^の直^うし^ーね^ー、沖^う縄^ちぬ^く組^み踊^ど、朝^ち薫^くぬ^ん五^ご番^ぱ「銘^め苺^じ子^し」

ん^かい^に似^にち^ょー^いび^ーく^ど、御^う年^ど寄^しぬ^い達^ちぬ^な中^なか

い、良^ゆ一^わ分^ふか^みし^えー^るっ^ち人^んめ^んし^えー^びー^たん。

終^うわ^てから^ち茶^ち請^わき^か噛^かみ^がち^ー、ゆ^んた^くふ^んた^くさ^ー
び^たん。

前^め女^め「兄^にさ^のー、何^ま処^ちから^ま来^ちや^が。」

國^{くに}吉^し「大^や和^まから^ち来^ちや^ーび^たん。」

前^め女^め「大^や和^まん^ち人^ちど^やる^い。」

國^{くに}吉^し「あ^らん^さい。沖^う縄^ちん^ち人^ちど^やい^びー^んど^ー。」

前^め女^め「沖^う縄^ち口^ー、良^ゆ一^わ覚^じと^ーさ^やー。」

國^{くに}吉^し「う^ー。我^わん^ね、墨^し、出^で来^きら^んぬ^な一^な成^がて、学^が

校^こを^て、諸^む沖^う縄^ち口^ちど^やい^びー^たる。あ^んす^く

と、先^{しん}生^しん^かい^ふ鞭^ち小^さー^に、ち^やー^すぐ^らっ^と
ー^いび^ーた^ん。

あ^んし^が、我^わん^が望^ぬど^ーる^あ女^め先^あ生^ん前^しを^て、

性^そ入^いら^ーふ^ーな^ーっ^し、普^ふ通^つ語^ご使^ちと^ーい^びー^たん。(笑^わ)」

前^め女^め「兄^にさ^のー、す^くち^な者^むや^っさ^ー。(笑^わ)」

豊見城市内の介護付有料老人ホーム「うえた」で

会報に出てきた語句の説明

(沖縄語辞典、広辞苑による)

- ・んまをて：そこで。そちらで。
- ・うんぬきゆん：申し上げる。目上に言うことの敬語。
- ・ゆちってーん：ゆったりと。ゆうゆうと。
- ・どー：自分で。
- ・あんし：そうして。
- ・むさつど：毛頭。少しも。
- ・かんしえー成らん：こんなにしてはいけない。
- ・なーふん：もっと。さらに。
- ・ちやーさらー：どうしたら。
- ・あんしーかんしー：ああしたりこうしたり。
- ・とー：さあ。それ。気合を入れる声。
- ・はしち
うしい。
・くーゆん：閉じる。
- ・ぬーでーじる
・喉^{のど}弦^{げん}：声帯。
- ・たばさ：間。物体の間の狭いすき間をいう。
- ・あつたに：にわか。いきなり。
- ・いぬ如^{ごと}：同じように。
- ・～がちー：ながら。つつ。

- ・^{けー}帰いがちー：帰りながら。
- ・いぬ^{うと}音：同じ音。
- ・～ゆーすん：～することができる。
- ・^ん出じゃしゆーすん：出すことができる。
- ・い^んー：少しは。
- ・ちゃっさん：いくらでも。
- ・ゆちく：豊か。
- ・^{ちむう}肝打たりゆん：心を打たれる。感動する。
- ・びけーん：ばかり。
- ・うぬ：その。
- ・^{あー}りきさん：面白い。楽しい。
- ・^し添^{ぶん}一分：おまけ。
- ・～^こ小：小さいことを表し、またその愛称となる。
- ・^{ばー}ゆん：もらう。
- ・^{ばー}らりゆん：もらえる。
- ・^まちや^こ小：小店。
- ・^{あー}さ：海草の名。青海苔の一種。あおさ。
- ・^{あきとー}なー：おやまあ。あらまあ。驚いた時、失敗した時などに女のいう語。
- ・^{たる}がきゆん：当てにする。頼みにする。
- ・^{だー}：物を尋ねる時用いる。おい。ねえ。物を請求する意を表す。失敗した時にも使う。
- ・^{みー}ふ^{あー}ふ^{あー}ー：失望感・羞恥感などにおそわれて、目がほてるように感ずること。
- ・^{あん}まー：母。おかあさん。
- ・^{ちゆけー}隣^{どない}：隣近所。
- ・ゆーさねー：多分。
- ・^{ちむうち}肝内：内心。
- ・^{しんさく}斟酌：反省。
- ・うっぴ：その大きさ。それだけの(量)
- ・^{うむむち}趣：用向き。目的。
- ・ゆんたく^{ふん}たく：むやみにしゃべること。
- ・^{しー}じゃ^{かた}方：年上の人たち。先輩たち。
- ・^{ぱっ}ペーゆん：間違える。間違う。
- ・^{ちむ}肝ん^{ぶん}ぶん：満足しない。

- ・^{あん}すくど：それだから。だから。
- ・^{うり}：それ。そのこと。
- ・^{まじ}ゆーん：一緒(に)。共(に)。
- ・^{じょー}や：とても。とうてい。
- ・^{あと}後ぬうじゆみ：とどのつまり。結局。
- ・^{じゃー}ふ^{えー}：しまつにおえないこと。
- ・^{かー}ま：遠方。遠く。
- ・^{かー}まくしぬ^{ちゅ}っ人：遠く後方の人。
- ・^{あー}嫁^{ゆみ}：お嫁さん。他家の嫁の敬称。
- ・^{すぐ}らりゆん：しごかれる。なぐられる。
- ・^{しみ}墨：墨。学問。
- ・^{ぬじゆ}望むん：望む。惚れる。
- ・^{そー}性入らー：利口者。賢い者。
- ・^{ふー}なー：真似。ふり。
- ・^{すく}ちな^{むん}者：ひょうきん者。おどけ者。

*本文中は、語句は活用されていますので、ここに示しました語句とは必ずしも一致しておりません。

事務局から

12号をお届けいたします。

今回は、和田晶子さんから面白い体験談を寄せていただきました。編集している時、楽しくなりました。みーふあーふあーしている様子が目に浮かび何度も笑いました。

彼女から沖縄口で書いた葉書やお手紙などをいただくことがあります。少し訂正する時もありますが、完璧なうちなぐちのときもあり、ありがたく思っております。

家へ帰るとき、「わー、あー、わー、あー、・・・」している姿が見えるようで嬉しくなりました。

この会報は、沖縄語にご関心があれば、どなたでも投稿できます。

原稿は趣旨を変えないで、手直しをする場合がありますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

そして大変恐縮ですが、原稿料はお支払いできませんので、会報を寄贈して薄謝に代えさせていただきます。

多くの方々に私どもの活動を知っていただくため、ホームページの内容を絶えず更新しております。また沖縄語教育支援文庫も開設しております。パソコンをお持ちの方は、どうぞご覧下さいませ。 國吉(眞)

沖縄文字一覧と用例

赤い字はこの号で使った字です

ど[tu] 　どい(鳥) うど(音) みーど(夫婦)	ふ[hwe] 　ふー(南) にふーでーびる(有難うございます)
と[to] 　とーふ(豆腐) とーばる(桃原)	へ[he] 　へい(おい「目下への呼びかけ」)
ど[du] 　どし(友人) やど(宿) どー(自分)	や['ja]* 　やー(君、お前) やん(言わない)
ど[do] 　どーぐ(道具) まんどーん(たくさんある)	や['ja] 　やー(家) やん(である)
て[ti] 　てーち(一つ) てーだ(太陽) てん(空)	ゆ['ju]* 　ゆん(言う)
て[te] 　てーく(太鼓) てーしち(大切)	ゆ['ju] 　ゆんたく(おしゃべり)
て[di] 　てーび(筆) ぬーてー(喉) てきやー(秀才)	よ['jo]* 　よーいー(おさな子)
で[de] 　でーじ(大変なこと) ちよーでー(兄弟)	よ['jo] 　よーんなー(ゆっくり)
ふ[kwa] 　ふじ(火事) ふっちー(ごちそう)	あ['wa]* 　あー(豚) あーちち(天気)
か[ka] 　かじ(風) かんない(雷) かーま(遠方)	わ['wa] 　わーむん(私のもの)
ふ[gwa] 　にんふん(念願) ふんく(頑固)	あ['wi]* 　あー(上) あーりきさん(面白い)
が[ga] 　がんちょー(眼鏡、めがね) しがた(姿)	あ['wi] 　あきが(男) あなく(女)
く[kwi] 　くー(声) さっくー(咳) くゆん(呉れる)	糸['we]* 　糸ーきー(金持ち) 糸んちゆ(ねずみ)
き[ki] 　きー(木) きゆん(蹴る) きぶし(煙)	糸['we] 　うい糸ー(お祝) わじゃ糸ー(災い)
ぐ[gwi] 　ぐーく(越来「地名」)	ん['N]* 　んみ(梅) んに(稲) んなじ(うなぎ)
ぎ[gi] 　かーぎ(容ぼう)	ん['N] 　んに(胸) んみ(嶺井「地名」) んなど(港)
く[kwe] 　くー(鋏) からじくー(髪きり虫)	い['i]* 　いん(縁) いだ(枝)
け[ke] 　けー(かゆ) ちけー(使者)	い['i] 　いん(犬) いーび(指) いちゆん(行く)
ぐ[gwe] 　ぐったい(ぬかるみ)	ち['u]* 　ちど(夫) ちーじ(さとうきび)
げ[ge] 　げー(害) にげー(願い)	う['u] 　うど(音) うーび(帯)
ふ[hwa] 　ふー(葉) なーふ(那覇)	え['e]* 　えーま(八重山) えーじ(八重洲)
は[ha] 　はる(畑) はぎもー(荒地)	え['e] 　えーさち(あいさつ) えーじ(合図)
ふ[hwi] 　ふじゃい(左) ふーど(いるか)	お['o] 　おーじ(扇) おーさん(青い)
ひ[hi] 　ひやみかすん(えい、と言う)	を['o] 　をーじ(王子) をーれー(往来)

[]内は沖縄語辞典による読み方 [?]は声門破裂音のあること、[']は声門破裂音のないことを示す。

* は単語の語頭だけに用います。語頭以外では用いません。

例 　どい(鳥) ×どい

音の出だしに、僅かに i をひびかせます。(自由使用とされていますので、使用許可は要りません。)